

2022年3月15日
公益財団法人 新国立劇場運営財団

新国立劇場が世界最大級のオペラ映像配信プラットフォーム OperaVision に加盟決定！
～パートナーの一員として世界中に新国立劇場のオペラ公演をお届けします～



公益財団法人新国立劇場運営財団（東京都渋谷区）はこの度、Opera Europa（ベルギー・ブリュッセル）とパートナーシップ協定を締結し、OperaVision プロジェクトへの参画を決定いたしましたのでお知らせいたします。

これにより、新国立劇場は世界最大級のオペラ公演映像配信プラットフォームである OperaVision のプロジェクトパートナーとなり、本プラットフォームを活用し、新国立劇場の公演を世界に向けて発信して参ります。

OperaVision とは、主にヨーロッパのオペラ団体を中心に構成され、新国立劇場も加盟しているオペラ・ヨーロッパ Opera Europa が、オペラという文化芸術の伝承と発展のために世界中の観客に向けて優れたオペラ公演を無料で配信・提供することを目的として立ち上げたプロジェクトです。欧州連合(EU)の文化支援プログラムである Creative Europe の支援のもと、運営されています。

2022年からは、新国立劇場を含めた30のオペラハウス・オペラ団体がパートナーとして加盟することとなりました。アジア圏からの参加は、当劇場が初、そして唯一の加盟団体となります。

これまでも新国立劇場は、Opera Europa 主導のワールド・オペラ・デー（World Opera Day/2019年より毎年10月25日に開催）に参加し、OperaVision 上で新国立劇場合唱団の演奏や新国立劇場オペラ研修所公演（抜粋）をお届けして参りました。さらに2021年10月には、アレックス・オリエ演出によるオペラ『カルメン』を期間限定で全編無料配信。世界中のオペラファン・音楽ファンにお楽しみ頂くことができ、その視聴回数は3か月総計で43,000回を超えました。

今後も OperaVision を通じて、継続的に新国立劇場の公演を日本国内のみならず世界に向けてお届けいたします。

報道関係者各位におかれましては、一般の皆様への周知にご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【報道関係の皆様からのお問い合わせ先】

広報室：松延、大島

TEL：03-5352-5781 / FAX：03-5352-5709 / E-mail：press@nntt.jac.go.jp

■OperaVision とは？



OPERA VISION

現在 16 か国 30 団体のオペラハウス・オペラ団体がプロジェクトパートナーとして参画し（2022 年 3 月時点）、その優れた公演映像や関連動画を無料配信するためのプロジェクトであり、プラットフォームです。

OperaVision では、パートナー劇場で上演した公演の映像配信を数か月間視聴することができ、そのジャンルはオペラのみならず、オペレッタ、ダンス、バレエ、クラシックコンサートなど多岐にわたります。

さらには各公演に関連するインタビュー動画や舞台裏、リハーサル風景をまとめた動画も紹介され、演目や作品を深掘りできるコンテンツが満載です。

OperaVision 公式サイト：<https://operavision.eu/en>（英語・フランス語・ドイツ語）

Co-funded by the European Union

■新国立劇場のこれまでの OperaVision を通じた配信プログラム

◇2020 年 10 月 ワールド・オペラ・デー2020 記念オンラインコンサート

新国立劇場合唱団がベートーヴェン作曲「第九」より第四楽章を抜粋演奏。その模様をコンサート動画内で配信。

詳細：https://www.nntt.jac.go.jp/opera/news/detail/6_018715.html

◇2021 年 10 月 オペラ『カルメン』公演映像配信

2021 年 7 月に新制作上演したオペラ『カルメン』を 3 か月限定で配信。

詳細：https://www.nntt.jac.go.jp/opera/news/detail/6_021138.html

◇2021 年 10 月 ワールド・オペラ・デー2021 次世代の芸術家と贈る特別映像

新国立劇場オペラ研修所の授業風景や、2021 年 3 月修了公演チマローザ作曲『悩める劇場支配人』の公演映像（抜粋）をオンラインプログラム内で配信。

現在配信中～2022 年 4 月 25 日まで

詳細：https://www.nntt.jac.go.jp/opera/news/detail/6_021278.html

■新国立劇場について

新国立劇場は、日本唯一の現代舞台芸術のための国立劇場として、オペラ、バレエ、ダンス、演劇の公演の制作・上演や、芸術家の研修等の事業を行っています。オペラ部門は 2018 年 9 月より世界的指揮者の大野和士が芸術監督に就任し、世界の主要歌劇場と比肩する水準のオペラ公演を年間およそ 10 本上演、高校生のためのオペラ鑑賞教室の実施等を行っています。